

## 「宇宙への道」講演 7/25



▲宇宙に関する質問に笑顔で答える宇宙飛行士の古川聡さん

宇宙飛行士の古川聡<sup>ふるかわさとし</sup>さんを招いての特別授業「宇宙飛行士への道」(沖縄宇宙プロジェクト&沖縄仮説実験授業研究会主催)が、市石川会館大ホールで開かれ、約650人の参加者が会場を埋め尽くしました。

ウルトラセブンにあこがれて宇宙飛行士を目指したという古川さんは、厳しい訓練の様子や、国際宇宙ステーションの様子などをスクリーンで紹介。「夢を持ち、それに向かって努力し続けてほしい」と子どもたちにエールを送りました。

## 海の幸がいっぱい! 7/23

与那城町漁業協同組合(安次富保<sup>あしとみたもつ</sup>会長)では日曜日、平安座漁港内のセリ市場において、水産物の一般開放セリを開催しました。

台風4号の影響で一週間延期したにもかかわらず、日頃体験できないセリに参加できるとあって、多くの市民が朝早くから訪れ、水揚げされたばかりの海の幸がセリ箱に並べられると、場内は活気にみち溢れました。

目星をつけた魚貝類をゲットした市民、100円差で惜しくも競り落とせなかった市民、様々な思い出を作ったことでしょう。

競り落とされた商品は、魚さばきコーナーで漁協職員により手際よく処理され、晩ご飯の食卓に並ぶことでしょう。

▶毎回大盛況のセリ市



◀水揚げされたばかりの魚に興味津々の子どもたち



▲津堅島キャロット愛ランド内で行われた警察官立寄所設置式

## 夏場の島の安全を守る! うるま署が「警察官立寄所」設置 7/22

夏場の観光シーズンの到来を前に、市内で唯一の離島津堅島で、うるま署(比嘉義雄<sup>ひがよしお</sup>署長)による「警察官立寄所」が開設されました。

日頃は静かな島も観光シーズンになると、県内外から多くの観光客が訪れることから、島内での事件・事故の防止を目的に設置。8月末までの週末には警官2人が駐在し、島民らで組織する安全パトロール隊と合同でパトロールを実施しました。

開所式で比嘉署長は「警官の活動には地域の協力をお願いしたい」と呼びかけ、同島の新屋功区長も「この5年間事件・事故なく安心して暮らしています。今年もよろしく願います」と歓迎しました。

## 市が公共施設としては県内初の ESCO事業を開始 8/1



▲ESCO事業開始を喜び、握手する知念市長と事業者代表の小須田徹夫氏

省エネ意識の啓発と地域レベルで地域温暖化防止へ寄与すること及び光熱水費の効率的な削減を目的としたESCO事業が、市内の公共施設としては初めて、うるま市の4施設(本庁、石川、与那城庁舎、市民芸術劇場)で実施されることになりました。

その開始式が市役所1階ロビーで行われました。

式では国、県及び関係事業者をはじめ知念市長や各部長が出席。事業の導入で、12年間にわたり市では毎年省エネ率21.1%、CO<sub>2</sub>削減量が490ton-CO<sub>2</sub>/年、光熱水費削減17,017千円(うち市年間利益2,552千円、ESCOサービス料14,465千円)/年の成果が得られることになっています。また、市では同事業の導入に貢献された琉球大学工学部教授千住智信<sup>せんじゆちのぶ</sup>氏、(財)日本立地センター客員研究員重富秀雄<sup>しげとみひでお</sup>氏へ感謝状を贈呈しました。